

鉄道駅バリアフリー料金制度における 整備等計画の進捗状況

● 西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)	1
● 阪神電気鉄道株式会社	12
● 阪急電鉄株式会社	21
● 神戸電鉄株式会社	29
● 神戸高速線(阪神・阪急・神戸電鉄)	34
● 京阪電気鉄道株式会社	43
● 山陽電気鉄道株式会社	50
● 大阪市高速電気軌道株式会社(大阪メトロ)	58

2026 年 6 月 30 日
西日本旅客鉄道株式会社

鉄道駅バリアフリー料金制度に関する バリアフリー設備の整備進捗状況について

JR 西日本では、より安全に安心して鉄道をご利用いただけるよう、駅のホームにおける安全性向上を重要な経営課題ととらえ、ハード・ソフトの両面からさまざまな取り組みを進めております。

2023 年 4 月 1 日から京阪神地区の整備対象エリアにおいて、鉄道駅バリアフリー料金制度を活用し、お客様のご理解とご協力をいただきながら、バリアフリー設備の整備を進めております。

このたび、国土交通省近畿運輸局へ報告した 2025 年度の進捗状況(様式 2-1～様式 2-4)および直近 5 か年(2021 年度から 2025 年度)の進捗状況(様式 3-1～様式 3-3)について、お知らせします。

1. バリアフリー設備整備進捗状況

(1) 設置・改良費

ア. 当該年度（2025 年度）

設備名	上段：整備駅名(のりば)/下段：整備数		設置・改良費 ※2
	整備中	整備完了	
エレベーター・エスカレーター	元町(エレベーター2 基・エスカレーター3 基)、 城陽(エレベーター2 基) 2 駅	—	35 百万円
ホーム柵	天王寺(16・17)、大阪(3・4)、 尼崎(1・2・4・5)、吹田(2・3)、 新三田(1～4)、新福島(1・2)、 舞子(1・2)、京都(6・7)、 西明石(1～4)、住道(1～4)、 南草津(2・3)、芦屋(1～4) 12 駅 34 番線	京都(3・4)、天王寺(11・14)、 新今宮(2・3)、神戸(3・4)、 明石(1・2) 5 駅 10 番線	4,068 百万円 ※4
ホーム安全 スクリーン	【改良】※3 六甲道(1・2)	【設置】 草津(3～6)、膳所(1・4)、 京都(8～10・31～33)、大阪(11)、 塚本(2・3)、北伊丹(1・2)、 塚口(1～3)、柏原(2～4)、 王寺(1～4)、和泉府中(1～4)、 大阪城公園(1・2)、亀岡(1～4)、 鶴ヶ丘(1～4)、川西池田(1～4)、 朝霧(1・2)、魚住(1・2)、 手柄山平和公園(1・2) 17 駅 51 番線	1,568 百万円
		【改良】※3 須磨(1～4)、桂川(1・2)、 奈良(2～5)、 三国ヶ丘(1・2) 4 駅 12 番線	
		2 駅 3 番線	
段差隙間 縮小に 資する設備	—	大阪(1)、天王寺(11・14) 2 駅 3 番線	45 百万円

※1 【設置】【改良】の記載がない設備はすべて新規設置を示します

※2 整備中および整備完了の設備に対して発生した費用を示します

※3 ホーム上の屋根等がない範囲の整備を示します

※4 過年度に整備完了済である 1 駅 2 番線(弁天町)の整備費の一部を含んでいます

イ. 累積（2021 年度～2025 年度）

設備名	整備完了	整備着手	整備費	計画進捗率※1
エレベーター	0 駅 0 基	2 駅 4 基	35 百万円	- %
エスカレーター	0 駅 0 基	1 駅 3 基		(0/0 基)
ホーム柵	9 駅 19 番線	24 駅 86 番線	9,735 百万円	100 % (19/19 番線)
ホーム安全 スクリーン	45 駅 142 番線	45 駅 142 番線	4,171 百万円	100 % (142/142 番線)
段差隙間縮小に 資する設備	6 駅 14 番線	6 駅 14 番線	136 百万円	100 % (14/14 番線)

(2) 更新費

ア. 当該年度 (2025 年度)

エレベーター	6 駅 10 基	239 百万円
エスカレーター	5 駅 11 基	388 百万円

イ. 累積 (2021 年度～2025 年度)

エレベーター	12 駅 25 基	537 百万円
エスカレーター	8 駅 31 基	1,131 百万円

(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用(駅務機器改修費・駅頭表示改修費等)

ア. 当該年度 (2025 年度)

維持管理費	1,256 百万円
収受システム改修費	—
その他費用	6 百万円

イ. 累積 (2021 年度～2025 年度)

維持管理費	4,796 百万円
収受システム改修費	118 百万円
その他費用	192 百万円

(4) 料金収受額・整備費

ア. 当該年度 (2025 年度)

①料金収受額：7,625 百万円

②整備費：7,605 百万円 ※ (1) ～ (3) の合計額

イ. 累積 (2021 年度から 2025 年度まで)

①料金収受額：18,606 百万円 ※2023 年度より収受を開始

②整備費：20,851 百万円

(参考)

- ・ 鉄道駅バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー設備の整備

(2022 年 8 月 19 日ニュースリリース)

https://www.westjr.co.jp/press/article/2022/08/page_20617.html

- ・ 鉄道駅バリアフリー料金制度に関する整備等計画の変更について

(2024 年 3 月 27 日ニュースリリース)

https://www.westjr.co.jp/press/article/2024/03/page_24888.html

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 9 番、10 番、11 番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	西日本旅客鉄道株式会社
---------	-------------

本年度整備費	7,605 百万円
--------	-----------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）		
設備名	整備数	駅名
ホーム柵	5 駅 10 番線	京都・天王寺・新今宮・神戸・明石
エレベーター	0 駅 0 基	
エスカレーター	0 駅 0 基	
段差隙間縮小に資する設備	2 駅 3 番線	大阪・天王寺
ホーム安全スクリーン	17 駅 51 番線	草津・膳所・京都・大阪・塚本・北伊丹・塚口・柏原・王寺・和泉府中・大阪城公園・亀岡・鶴ヶ丘・川西池田・朝霧・魚住・手柄山平和公園
備考		

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		10	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0	駅
	二経路以上確保駅	0	駅

本年度徴収額	7,625 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	4,693	2,931	0
備考			

本年度までの累計整備費	20,851 百万円
本年度までの累計徴収額	18,606 百万円

2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホーム柵	16 駅	46 番線	※1	4,068 百万円
エレベーター	2 駅	4 基	元町、城陽	35 百万円
エスカレーター	1 駅	3 基	元町 ※3	0 百万円
段差隙間縮小	2 駅	3 番線	天王寺、大阪	45 百万円
ホーム安全スクリーン	22 駅	65 番線	※2	1,568 百万円
備考	※1 【供用開始】 5駅10番線(京都、天王寺、新今宮、神戸、明石) 【整備中】 12駅34番線(京都、天王寺、大阪、尼崎、吹田、新三田、新福島、舞子、西明石、住道、南草津、芦屋) 【過年度供用開始済】 1駅2番線(弁天町) ※2 【供用開始】 [設置]17駅51番線(京都、膳所、草津、亀岡、大阪、大阪城公園、和泉府中、鶴ヶ丘、柏原、王寺、塚本、北伊丹、塚口、朝霧、川西池田、魚住、手柄山平和公園) [改良]4駅12番線(桂川、三国ヶ丘、奈良、須磨) 【整備中】 [改良]1駅2番線(六甲道) ※3 整備費について、エレベーター・エスカレーターに共通する設計費をエレベーターに含んで計上			
設備名	整備数		整備駅名	整備費
エレベーター	6 駅	10 基	京都、三ノ宮、住吉、森ノ宮、二条、尼崎	239 百万円
エスカレーター	5 駅	11 基	京都、甲南山手、大久保、姫路、北新地	388 百万円
備考				
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費		1,256 百万円		
収受システム改修費		0 百万円		
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)		6 百万円		
備考	維持管理費は、エレベーター、エスカレーター、ホーム柵、ホーム安全スクリーンの維持管理に要した費用を示す。			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2021年度～2025年度）

年度	ホーム柵設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	2番線	11%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	1番線	16%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	6番線	47%	0駅	0%	0駅	0%
2025年度	10番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
累計	19番線	100%	0駅	—	0駅	—

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホーム柵設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	8番線	44%	0駅	0%	0駅	0%
2027年度	10番線	100%	1駅	100%	1駅	100%
累計	18番線	100%	1駅	100%	1駅	100%

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
神戸(3,4番ホーム)昇降式ホーム柵新設他	ホーム上での工事においては、営業線近接工事を取り扱う資格を有し、かつ、当社仕様のホーム柵設置技術を有している施工会社による施工が必要なため	過去の施工実績等を基に基準価格を設定し、適正な価格協議を実施	260 百万円
天王寺(11,14番ホーム)可動式ホーム柵新設他	ホーム上での工事においては、営業線近接工事を取り扱う資格を有し、かつ、当社仕様のホーム柵設置技術を有している施工会社による施工が必要なため	過去の施工実績等を基に基準価格を設定し、適正な価格協議を実施	150 百万円
新福島(1,2番ホーム)可動式ホーム柵他新設	ホーム上での工事においては、営業線近接工事を取り扱う資格を有し、かつ、当社仕様のホーム柵設置技術を有している施工会社による施工が必要なため	過去の施工実績等を基に基準価格を設定し、適正な価格協議を実施	4 百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	西日本旅客鉄道株式会社
---------	-------------

期間中の総整備費	20,851 百万円
期間中の総徴収額	18,606 百万円
備考	

整備完了実績（設置又は改良であって、期間中に供用を開始したもの）					
設備名	計画数		整備数		進捗率
ホーム柵	9 駅	19 番線	9 駅	19 番線	100 %
エレベーター	0 駅	0 基	0 駅	0 基	%
エスカレーター	0 駅	0 基	0 駅	0 基	%
段差隙間縮小に資する設備	6 駅	14 番線	6 駅	14 番線	100 %
ホーム安全スクリーン	45 駅	142 番線	45 駅	142 番線	100 %
備考					

※整備内容の詳細については様式3-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

料金徴収による期間中のホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		19	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0	駅
	二経路以上確保駅	0	駅

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績		
(1) 設置・改良費		
設備名	整備数	整備費
ホーム柵	9(24) 駅 19(86) 番線	9,735 百万円
エレベーター	0(2) 駅 0(4) 基	35 百万円
エスカレーター	0(1) 駅 0(3) 基	0 百万円
段差隙間縮小	6 駅 14 番線	136 百万円
ホーム安全スクリーン	45 駅 142 番線	4,171 百万円
備考	※ホーム柵、エレベーター、エスカレーターのカッコ内は整備に着手している数を示す	
(2) 更新費		
設備名	整備数	整備費
エレベーター	12 駅 25 基	537 百万円
エスカレーター	8 駅 31 基	1,131 百万円
備考		
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）		
維持管理費	4,796 百万円	
収受システム改修費	118 百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	192 百万円	
備考	維持管理費は、エレベーター、エスカレーター、ホーム柵、ホーム安全スクリーンの維持管理に要した費用を示す。	

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備等計画と実績が異なる場合の対応方針
概ね計画通りに進捗した

鉄道駅バリアフリー料金制度における整備等計画の進捗状況について(お知らせ)

当社では 2023 年 4 月 1 日より、運賃と合わせて鉄道駅バリアフリー料金(以下「料金」といいます。)を収受しておりますが、「鉄道駅バリアフリー料金の取扱いに関する通達(制定 国鉄都第 111 号 令和 3 年 12 月 28 日付け、改正 国鉄都第 77 号 令和 8 年 1 月 14 日付け)」に基づき、下記の通り 2025 年度の整備等計画の進捗状況をお知らせいたします。

お客さまには引き続き料金のご負担をお願いすることとなりますが、制度の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 整備費総額 : 3, 207百万円(2022 年度からの累計 6, 280百万円)

【内訳】設置・改良費 2, 770百万円

更新費 194百万円

維持管理費・収受システム改修費・その他費用 243百万円

2. 主な整備内容

①設置・改良費の内容

尼崎駅、淀川駅、姫島駅…ホームドア製作等

鳴尾・武庫川女子大前駅、甲子園駅、住吉駅、元町駅…ホームドア製作、設置工事等

西宮駅等5駅※…ホームドア設置(測量業務)

※西宮駅、大物駅、魚崎駅、杭瀬駅、久寿川駅

②更新費の内容

・魚崎駅 エレベーター更新、千船駅・元町駅 エスカレーター更新

③維持管理費・収受システム改修費・その他費用の内容

・ホームドア(可動式ホーム柵)、エレベーター、エスカレーターの維持管理費及び固定資産税

3. 料金徴収によるホームドア設置番線数及び段差解消駅数

・ホームドア設置番線数 9 番線

・段差解消駅数 0 駅(二経路以上確保駅)

4. 料金徴収額 : 1, 309百万円(2023 年度からの累計 3, 661百万円)

5. 整備等計画の進捗状況 : 当初の計画通りに進捗しています。

以 上

2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	阪神電気鉄道株式会社
---------	------------

本年度整備費	3,207 百万円
--------	-----------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	4 駅	9 番線	鳴尾・武庫川女子大前駅、甲子園駅、住吉駅、元町駅
エレベーター	0 駅	0 基	
エスカレーター	0 駅	0 基	
スロープ	0 駅	0 ヶ所	
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線	
段差隙間縮小に資する設備	0 駅	0 番線	
バリアフリースイレ	0 駅	0 ヶ所	
車両のフリースペース	0 編成	0 両	
その他	0	駅	
備考			

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		9	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0	駅
	二経路以上確保駅	0	駅

本年度徴収額	1,309 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	885	424	0
備考			

本年度までの累計整備費	6,280	百万円
本年度までの累計徴収額	3,661	百万円

2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績			
(1) 設置・改良費			
設備名	整備数		整備駅名
ホームドア	12 駅	18 番線	【新規】尼崎駅、淀川駅、姫島駅、西宮駅 ※、大物駅※、魚崎駅※、杭瀬駅※、久寿川駅※、【継続】鳴尾・武庫川女子大前駅、甲子園駅、住吉駅、元町駅
エレベーター	駅	基	
エスカレーター	駅	基	
スロープ	駅	ヶ所	
内方線付点状ブロック	駅	番線	
段差隙間縮小	駅	番線	
バリアフリースイール	駅	ヶ所	
車両のフリースペース	編成	両	
その他	駅		
備考	※測量業務のみを実施		
(2) 更新費			
設備名	整備数		整備駅名
ホームドア	駅	番線	
エレベーター	1 駅	1 基	魚崎駅
エスカレーター	2 駅	2 基	千船駅、元町駅
バリアフリースイール	駅	ヶ所	
車両	編成	両	
その他	駅		
備考			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費	235		百万円
収受システム改修費			百万円
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	8		百万円
備考	維持管理費には、ホームドア・エレベーター・エスカレーター・バリアフリースイールの維持管理費を含む その他費用は鉄道駅バリアフリー料金で整備した資産にかかる固定資産税		

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2021年度～2025年度）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	駅	%	駅	%
2022年度	0番線	0%	駅	%	駅	%
2023年度	6番線	35%	駅	%	1駅	－%
2024年度	2番線	47%	駅	%	駅	%
2025年度	9番線	100%	駅	%	駅	%
累計	17番線	100%	駅	%	1駅	－%

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	11番線	12%	駅	%	駅	%
2027年度	12番線	26%	駅	%	駅	%
2028年度	20番線	48%	駅	%	駅	%
2029年度	14番線	64%	駅	%	駅	%
2030年度	16番線	82%	駅	%	駅	%
2031年度	6番線	89%	駅	%	駅	%
2032年度	6番線	96%	駅	%	駅	%
2033年度	4番線	100%	駅	%	駅	%
2034年度	0番線	100%	駅	%	駅	%
2035年度	0番線	100%	駅	%	駅	%
累計	89番線	100%	駅	%	駅	%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
尼崎駅ホームドア設置工事（5・6番線）の内土木関係工事	同駅の大規模改良工事を施工中の事業者と請負契約を締結することにより、工程調整、安全管理及び施工の一体性を確保でき、工事を円滑に進めることが可能となるため。	請負業者との価格協議を十分に行い、価格抑制に努めた。	395 百万円
甲子園駅ホームドア設置工事(2・3番線)の内機械関係精算設計変更工事	近鉄車両停車ホームについては、支柱伸縮式ロープ柵を指定品とする必要があり、当該設備及び当社における鉄道施設固有設備の施工に精通している請負業者は、2025年時点では一社しかいないため。	請負業者との価格協議を十分に行い、価格抑制に努めた。	555 百万円
甲子園駅ホームドア設置工事（1・4・5 番線）の内電気関係精算設計変更工事	列車運行に関わる鉄道電気施設固有の設備を改良・補修する工事で、当社における当該設備の施工に精通している請負業者は一社しかいないため。	請負業者との価格協議を十分に行い、価格抑制に努めた。	66 百万円
住吉駅ホームドア設置工事（1・2番線）の内電気関係精算設計変更工事	列車運行に関わる鉄道電気施設固有の設備を改良・補修する工事で、当社における当該設備の施工に精通している請負業者は一社しかいないため。	請負業者との価格協議を十分に行い、価格抑制に努めた。	34 百万円
鳴尾・武庫川女子大前駅ホームドア設置工事（1・2番線）の内電気関係精算設計変更工事	列車運行に関わる鉄道電気施設固有の設備を改良・補修する工事で、当社における当該設備の施工に精通している請負業者は一社しかいないため。	請負業者との価格協議を十分に行い、価格抑制に努めた。	42 百万円
元町駅ホームドア設置工事（1・2番線）の内電気関係精算設計変更工事	列車運行に関わる鉄道電気施設固有の設備を改良・補修する工事で、当社における当該設備の施工に精通している請負業者は一社しかいないため。	請負業者との価格協議を十分に行い、価格抑制に努めた。	38 百万円
尼崎駅ホームドア設置工事（5・6番線）の内電気関係工事	列車運行に関わる鉄道電気施設固有の設備を改良・補修する工事で、当社における当該設備の施工に精通している請負業者は一社しかいないため。	請負業者との価格協議を十分に行い、価格抑制に努めた。	37 百万円
姫島駅ホームドア設置工事（1・2番線）の内電気関係工事	列車運行に関わる鉄道電気施設固有の設備を改良・補修する工事で、当社における当該設備の施工に精通している請負業者は一社しかいないため。	請負業者との価格協議を十分に行い、価格抑制に努めた。	28 百万円
甲子園駅ホームドア設置工事（2・3番線）の内電気関係精算設計変更工事	列車運行に関わる鉄道電気施設固有の設備を改良・補修する工事で、当社における当該設備の施工に精通している請負業者は一社しかいないため。	請負業者との価格協議を十分に行い、価格抑制に努めた。	66 百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	阪神電気鉄道株式会社
---------	------------

期間中の総整備費	6,280 百万円
期間中の総徴収額	3,661 百万円
備考	

整備完了実績（設置又は改良であって、期間中に供用を開始したもの）							
設備名		計画数		整備数		進捗率	
ホームドア		6 駅	17 番線	6 駅	17 番線	100	%
エレベーター		1 駅	2 基	1 駅	2 基	100	%
エスカレーター		0 駅	基	0 駅	0 基	－	%
スロープ		0 駅	ヶ所	0 駅	0 ヶ所	－	%
内方線付点状ブロック		0 駅	番線	0 駅	0 番線	－	%
段差隙間縮小に資する設備		0 駅	番線	0 駅	0 番線	－	%
バリアフリースイレ		0 駅	ヶ所	0 駅	0 ヶ所	－	%
車両のフリースペース		0 編成	両	0 編成	0 両	－	%
その他		1	駅	1	駅	100	%
備考	エスカレーター（音声案内装置）						

※整備内容の詳細については様式3-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

料金徴収による期間中のホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数		17 番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	1 駅

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績		
(1) 設置・改良費		
設備名	整備数	整備費
ホームドア	6 駅 17 番線	4,952 百万円※1
エレベーター	1 駅 2 基	136 百万円
エスカレーター	駅 基	百万円
スロープ	駅 ヶ所	百万円
内方線付点状ブロック	駅 番線	百万円
段差隙間縮小	駅 番線	百万円
バリアフリースイレ	駅 ヶ所	百万円
車両のフリースペース	編成 両	百万円
その他	1 駅※2	2 百万円
備考	※1 未供用分を含む ※2 大阪梅田駅 エスカレーター音声案内装置	
(2) 更新費		
設備名	整備数	整備費
ホームドア	駅 番線	百万円
エレベーター	1 駅 1 基	71 百万円
エスカレーター	2 駅 2 基	123 百万円
バリアフリースイレ	駅 ヶ所	百万円
車両	編成 両	百万円
その他	駅	百万円
備考		
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）		
維持管理費	832	百万円
収受システム改修費	62	百万円
その他費用 （駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）	102	百万円
備考	維持管理費には、ホームドア・エレベーター・エスカレーター・バリアフリースイレの維持管理を含む	

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備等計画と実績が異なる場合の対応方針

(該当なし)

鉄道駅バリアフリー料金制度における整備等計画の進捗状況について
(お知らせ)

標記の件につきまして、弊社では 2023 年 4 月 1 日から運賃に加算して「鉄道駅バリアフリー料金」を収受させていただいておりますが、「鉄道駅バリアフリー料金制度の運用細目を定める通達（国鉄都第 77 号 令和 8 年 1 月 14 日付）」に基づき、2025 年度におけるバリアフリー整備等の実績について以下の通りご報告申し上げます。

お客様には引き続き料金のご負担をおかけしますが、制度の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

■2025 年度実績

1. 整備費総額：75 億 17 百万円

【内訳】設置・改良費：65 億 88 百万円、更新費：4 億 89 百万円、
維持管理費：4 億 40 百万円

2. 設置・改良費の内容

(1) ホームドア整備費

①ホーム補強・扛上工事ならびに可動式ホーム柵設置工事（2025 年度供用開始）

石橋阪大前駅、川西能勢口駅、高槻市駅、京都河原町駅

②ホーム補強・扛上工事ならびに可動式ホーム柵設置工事

塚口駅

③ホーム補強・扛上工事等

園田駅、武庫之荘駅、豊中駅、雲雀丘花屋敷駅、烏丸駅

(2) 固定式ホーム柵整備費

①ホーム補強・扛上工事ならびに固定式ホーム柵設置工事（2025 年度供用開始）

石橋阪大前駅、桜井駅、牧落駅、箕面駅

②設計業務

上桂駅、松尾大社駅、嵐山駅

(3) 車両のフリースペース整備費

車いすスペース改良工事：9300 系 4 編成 32 両

(4) バリアフリーストイレ整備費

改修工事：芦屋川駅

(5) その他

バリアフリー化に向けた測量・設計業務：中津駅

バリアフリー化に向けた調査検討：大阪梅田駅

3. 更新費の内容

(1) エレベーター更新費：甲東園駅、三国駅、豊中駅、川西能勢口駅

(2) エスカレーター更新費：甲東園駅、曽根駅、中山観音駅、上新庄駅

4. 維持管理費の内容

エレベーター、エスカレーター、可動式ホーム柵等

5. 2025 年度の料金徴収によるホームドア設置番線数及び段差解消駅数

- ・ ホームドア設置番線数：4 駅 12 番線（川西能勢口駅、京都河原町駅、高槻市駅、石橋阪大前駅）
- ・ 固定式ホーム柵設置番線数：4 駅 9 番線
（石橋阪大前駅、桜井駅、牧落駅、箕面駅）
- ・ 段差解消駅数：0 駅

6. 2025 年度の収受総額：37 億 67 百万円

【内訳】 定期外：25 億 72 百万円、通勤定期券：11 億 95 百万円

7. 整備等計画の進捗状況：当初の計画通りに進捗しています。

8. 本年度までの累計整備費・収受額

【累計整備額】 188 億 33 百万円（2021 年度～2025 年度）

【累計収受額】 107 億 51 百万円（2023 年度～2025 年度）

以 上

2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	阪急電鉄株式会社
---------	----------

本年度整備費	7,517 百万円
--------	-----------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）		
設備名	整備数	駅名
可動式ホーム柵	4 駅 12 番線	石橋阪大前・川西能勢口 高槻市・京都河原町
固定式ホーム柵	4 駅 9 番線	石橋阪大前・桜井・牧落・箕面
エレベーター	0 駅 0 基	
エスカレーター	0 駅 0 基	
スロープ	0 駅 0 ヶ所	
内方線付点状ブロック	0 駅 0 番線	
段差隙間縮小に資する設備	0 駅 0 番線	
バリアフリースイレ	1 駅 1 ヶ所	芦屋川
車両のフリースペース	3 編成 24 両	
その他	1 駅	池田
備考	【その他】視覚障がい者誘導用ブロック設置工事（池田）	

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		12	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0	駅
	二経路以上確保駅	0	駅

本年度徴収額	3,767 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	2,572	1,195	0
備考			

本年度までの累計整備費	18,833 百万円
本年度までの累計徴収額	10,751 百万円

2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
可動式ホーム柵	10 駅	28 番線	【継続】塚口・石橋阪大前 ・川西能勢口・高槻市・京都河原町 【新規】園田・武庫之荘・豊中・雲雀丘花屋敷 ・烏丸	5,776 百万円
固定式ホーム柵	4 駅	9 番線	【継続】石橋阪大前・桜井・牧落・箕面	734 百万円
エレベーター	0 駅	0 基		0 百万円
エスカレーター	0 駅	0 基		0 百万円
スロープ	0 駅	0 ヶ所		0 百万円
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線		0 百万円
段差隙間縮小	0 駅	0 番線		0 百万円
バリアフリートイレ	1 駅	1 ヶ所	【新規】芦屋川	13 百万円
車両のフリースペース	4 編成	32 両		15 百万円
その他				50 百万円
備考	【可動式ホーム柵】 ホーム補強・扛上工事および可動式ホーム柵設置工事（塚口・石橋阪大前・川西能勢口・高槻市・京都河原町） ホーム補強・扛上工事（園田・武庫之荘・豊中・雲雀丘花屋敷・烏丸） 【固定式ホーム柵】 ホーム補強・扛上工事および固定式ホーム柵設置工事（石橋阪大前・桜井・牧落・箕面） 【バリアフリートイレ】 改修工事（芦屋川） 【車両のフリースペース】 車いすスペース改良工事（9300系4編成） 【その他】 視覚障がい者誘導用ブロック設置工事（池田） バリアフリー化に向けた計画検討（大阪梅田） バリアフリー化計画策定に伴う調査検討（中津）			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
可動式ホーム柵	0 駅	0 番線		0 百万円
固定式ホーム柵	0 駅	0 番線		0 百万円
エレベーター	4 駅	7 基	【新規】甲東園・三国・豊中・川西能勢口	248 百万円
エスカレーター	4 駅	9 基	【新規】甲東園・曽根・中山観音・上新庄	232 百万円
バリアフリートイレ	0 駅	0 ヶ所		0 百万円
車両	0 編成	0 両		0 百万円
その他		4 駅		9 百万円
備考	【その他】エレベーター戸開走行保護装置（六甲・桜井・富田・長岡天神）			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）				
維持管理費		440	百万円*	
収受システム改修費		0	百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)		0	百万円	
備考	*可動式ホーム柵・固定式ホーム柵・エレベーター・エスカレーター・点状ブロック等の維持管理			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2021年度～2025年度）

年度	可動式ホーム柵設置番線数		固定式ホーム柵設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
					駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	0%	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	0番線	0%	7番線	28%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	12番線	50%	9番線	64%	0駅	0%	0駅	0%
2025年度	12番線	100%	9番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
累計	24番線	100%	25番線	100%	0駅	0%	0駅	0%

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度～2030年度）

年度	可動式ホーム柵設置番線数		固定式ホーム柵設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
					駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	16番線	18%	6番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
2027年度	16番線	37%	0番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
2028年度	17番線	56%	0番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
2029年度	18番線	77%	0番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
2030年度	20番線	100%	0番線	100%	1駅	100%	1駅	100%
累計	87番線	100%	6番線	100%	1駅	100%	1駅	100%

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2031年度～2035年度）

年度	可動式ホーム柵設置番線数		固定式ホーム柵設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
					駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2031年度	19番線	22%	0番線	0%	0駅	0%	1駅	100%
2032年度	18番線	42%	0番線	0%	0駅	0%	0駅	100%
2033年度	18番線	63%	0番線	0%	0駅	0%	0駅	100%
2034年度	17番線	82%	0番線	0%	0駅	0%	0駅	100%
2035年度	16番線	100%	0番線	0%	0駅	0%	0駅	100%
累計	88番線	100%	0番線	0%	0駅	0%	1駅	100%

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
石橋阪大前駅ホームドア整備事業 （石橋阪大前駅1.2番線）	当社線の車両条件に適応し、信号・保安システムとの連動に対応可能なホームドア関連技術を有している製造メーカーに随意契約とした。	技術提案型のコンペを実施した上で、当社の要求水準に合致する技術を有すると判断し、価格も妥当と認められる1社を選定している。	247 百万円
川西能勢口駅ホームドア事業整備 （川西能勢口駅1～3番線）	当社線の車両条件に適応し、信号・保安システムとの連動に対応可能なホームドア関連技術を有している製造メーカーに随意契約とした。	技術提案型のコンペを実施した上で、当社の要求水準に合致する技術を有すると判断し、価格も妥当と認められる1社を選定している。	357 百万円
京都河原町駅ホームドア整備事業 （京都河原町駅1～3番線）	当社線の車両条件に適応し、信号・保安システムとの連動に対応可能なホームドア関連技術を有している製造メーカーに随意契約とした。	技術提案型のコンペを実施した上で、当社の要求水準に合致する技術を有すると判断し、価格も妥当と認められる1社を選定している。	360 百万円
高槻市駅ホームドア整備事業 （高槻市駅1～4番線）	当社線の車両条件に適応し、信号・保安システムとの連動に対応可能なホームドア関連技術を有している製造メーカーに随意契約とした。	技術提案型のコンペを実施した上で、当社の要求水準に合致する技術を有すると判断し、価格も妥当と認められる1社を選定している。	484 百万円
塚口駅ホームドア整備事業 （塚口駅1.2番線）	当社線の車両条件に適応し、信号・保安システムとの連動に対応可能なホームドア関連技術を有している製造メーカーに随意契約とした。	技術提案型のコンペを実施した上で、当社の要求水準に合致する技術を有すると判断し、価格も妥当と認められる1社を選定している。	231 百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

2025 年度 バリアフリー整備の取組み

神戸電鉄は 1928 年（昭和 3 年）の開業以来、
「安心」・「安全」・「快適」をお届けすることを指名として、
お客様の豊かな暮らしを実現し、地域社会に貢献することを目指して鉄道の安全運行に努めています。
これからも「安心」・「安全」・「快適」をお届けし続けるため、
バリアフリー整備の取組みについて、計画的に進めて参ります。



2025 年度の主なバリアフリー整備の取組み

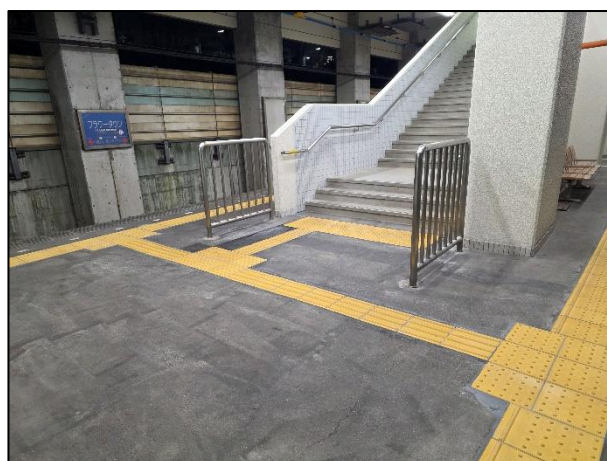
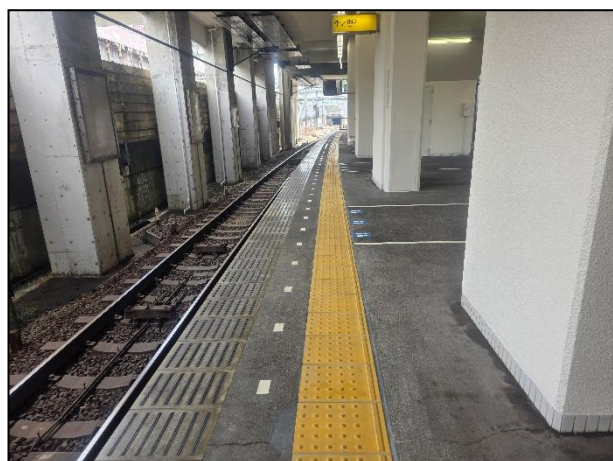
○駅のバリアフリー化（1 駅）

有馬線 有馬口 ホームスロープ設置



○ホームの改良（1 駅）

公園都市線 フラワータウン 内方線付点状ブロック設置



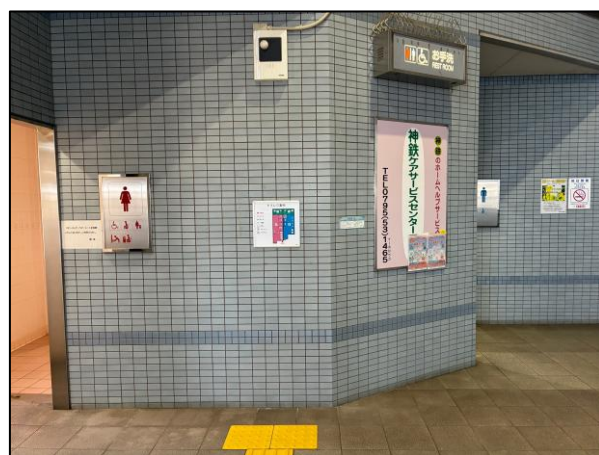
○視覚障害者誘導用ブロック改修（1 駅）

粟生線 広野ゴルフ場前 視覚障害者誘導用ブロック改修



○触知案内板および音声案内新設（4 駅）

有馬線 山の街
三田線 道場南口・横山
公園都市線 ウッディタウン中央



2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	神戸電鉄株式会社
期間中の総整備費	488 百万円
期間中の総徴収額	346 百万円
備考	2025/1/18に鉄道駅バリアフリー料金の収受を終了しています

整備完了実績（設置又は改良であって、期間中に供用を開始したもの）						
設備名		計画数		整備数	進捗率	
ホームドア		駅	番線	駅	番線	%
エレベーター		駅	基	駅	基	%
エスカレーター		駅	基	駅	基	%
スロープ		駅	ヶ所	駅	ヶ所	%
内方線付点状ブロック		2 駅	5 番線	1 駅	2 番線	50 %
段差隙間縮小に資する設備		駅	番線	駅	番線	%
バリアフリートイレ		駅	ヶ所	駅	ヶ所	%
車両のフリースペース		編成	両	編成	両	%
その他		9	駅	9	駅	100 %
備考	バリアフリー料金の収受終了後に運賃収入等を充当して整備したものは含めておりません。 内方線付点状ブロック 1駅2番線（志染駅） その他 筆談対応インターホン1駅（大池駅） 触知案内板5駅（岡場駅・田尾寺駅・三田駅・フラワータウン駅・志染駅） 案内ディスプレイ6駅（長田駅・山の街駅・花山駅・大池駅・田尾寺駅・志染駅）					

※整備内容の詳細については様式3-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

料金徴収による期間中のホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	駅
	二経路以上確保駅	駅

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績		
(1) 設置・改良費		
設備名	整備数	整備費
ホームドア	駅 番線	百万円
エレベーター	駅 基	百万円
エスカレーター	1 駅 1 基	18 百万円 (※1)
スロープ	1 駅 2 ヶ所	24 百万円 (※1)
内方線付点状ブロック	1 駅 2 番線	16 百万円
段差隙間縮小	駅 番線	百万円
バリアフリースイッチ	駅 ヶ所	百万円
車両のフリースペース	編成 両	百万円
その他	9 駅	17 百万円 (※2)
備考	バリアフリー料金の収受終了後に運賃収入等を充当して整備したものは含めておりません。 ※1：設計・調査費用を計上（北鈴蘭台駅エスカレーター、有馬口駅スロープ） ※2：筆談対応インターホン1駅（大池駅） 触知案内板5駅（岡場駅・田尾寺駅・三田駅・フラワータウン駅・志染駅） 案内ディスプレイ6駅（長田駅・山の街駅・花山駅・大池駅・田尾寺駅・志染駅）	
(2) 更新費		
設備名	整備数	整備費
ホームドア	駅 番線	百万円
エレベーター	2 駅 3 基	80 百万円
エスカレーター	4 駅 5 基	77 百万円
バリアフリースイッチ	駅 ヶ所	百万円
車両	編成 両	百万円
その他	駅	百万円
備考		
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）		
維持管理費	133	百万円 (※3)
収受システム改修費	15	百万円
その他費用 （駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）	108	百万円 (※4)
備考	※3：エレベーター、エスカレーターの維持管理 ※4：その他 駅務機器（券売機・改札機等）、駅頭表示（運賃表）改修費	

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備等計画と実績が異なる場合の対応方針

※内方線付点状ブロックの設置について

整備等計画に2駅5番線の整備と記載しておりますが、一部の駅については運賃収入等を充当して整備しましたので、本整備完了実績には計上していません。

※スロープの設置について

計画で見込んでいた整備内容の一部が2024年度に実施できなかったため、差額分の整備は運賃収入等を充当し実施しましたので、本整備完了実績には計上していません。

2026 年 6 月 30 日公表

阪神電気鉄道株式会社

阪急電鉄株式会社

神戸電鉄株式会社

鉄道駅バリアフリー料金制度における整備等計画の進捗状況について(お知らせ)

神戸高速線(当社ほか2社)では2025年1月19日より、運賃と合わせて鉄道駅バリアフリー料金(以下「料金」といいます。)を収受しておりますが、「鉄道駅バリアフリー料金の取扱いに関する通達(制定 国鉄都第 111 号 令和3年12月28日付け、改正 国鉄都第 77 号 令和8年1月14日付け)」に基づき、下記の通り2025年度の整備等計画の進捗状況をお知らせいたします。

お客さまには引き続き料金のご負担をお願いすることとなりますが、制度の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 整備費総額：12百万円

【内訳】維持管理費 12百万円

2. 主な整備内容

維持管理費・収受システム改修費・その他費用の内容

・エレベーター、エスカレーターの維持管理

3. 料金徴収によるホームドア設置番線数及び段差解消駅数

・ホームドア設置番線数 0 番線

・段差解消駅数 0 駅(二経路以上確保駅)

4. 料金徴収額：338百万円(2024年度からの累計 384百万円)

5. 整備等計画の進捗状況：当初の計画通りに進捗しています。

以 上

2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	阪神電気鉄道株式会社（神戸高速線） 阪急電鉄株式会社（神戸高速線） 神戸電鉄株式会社（神戸高速線）
---------	---

本年度整備費	12 百万円
--------	--------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	0 駅	0 番線	
エレベーター	0 駅	0 基	
エスカレーター	0 駅	0 基	
スロープ	0 駅	0 ヶ所	
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線	
段差隙間縮小に資する設備	0 駅	0 番線	
バリアフリースイレ	0 駅	0 ヶ所	
車両のフリースペース	0 編成	0 両	
その他		0 駅	
備考			

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		0	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0	駅
	二経路以上確保駅	0	駅

本年度徴収額	338 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	212	126	0
備考			

本年度までの累計整備費	153	百万円
本年度までの累計徴収額	384	百万円

2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績			
(1) 設置・改良費			
設備名	整備数		整備駅名
ホームドア	0 駅	0 番線	0 百万円
エレベーター	0 駅	0 基	0 百万円
エスカレーター	0 駅	0 基	0 百万円
スロープ	0 駅	0 ヶ所	0 百万円
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線	0 百万円
段差隙間縮小	0 駅	0 番線	0 百万円
バリアフリースイレ	0 駅	0 ヶ所	0 百万円
車両のフリースペース	0 編成	0 両	0 百万円
その他	0 駅		0 百万円
備考			
(2) 更新費			
設備名	整備数		整備駅名
ホームドア	0 駅	0 番線	0 百万円
エレベーター	0 駅	0 基	0 百万円
エスカレーター	0 駅	0 基	0 百万円
バリアフリースイレ	0 駅	0 ヶ所	0 百万円
車両	0 編成	0 両	0 百万円
その他	0 駅		0 百万円
備考			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費	12		百万円
収受システム改修費	0		百万円
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	0		百万円
備考			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2021年度～2025年度）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	—	駅	%	駅	%
2022年度	0番線	—	駅	%	駅	%
2023年度	0番線	—	駅	%	1駅	—%
2024年度	0番線	—	駅	%	駅	%
2025年度	0番線	—	駅	%	駅	%
累計	0番線	—	駅	%	1駅	—%

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	0番線	0%	駅	%	駅	%
2027年度	4番線	20%	駅	%	駅	%
2028年度	0番線	20%	駅	%	駅	%
2029年度	4番線	40%	駅	%	駅	%
2030年度	2番線	50%	駅	%	駅	%
2031年度	0番線	50%	駅	%	駅	%
2032年度	6番線	80%	駅	%	駅	%
2033年度	2番線	90%	駅	%	駅	%
2034年度	2番線	100%	駅	%	駅	%
2035年度	0番線	100%	駅	%	駅	%
累計	20番線	100%	駅	%	駅	%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
(該当なし)			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	阪神電気鉄道株式会社（神戸高速線） 阪急電鉄株式会社（神戸高速線） 神戸電鉄株式会社（神戸高速線）
---------	---

期間中の総整備費	153	百万円
期間中の総徴収額	384	百万円
備考	2026年度以降も引き続きバリアフリー施設の整備を行っていく。	

整備完了実績（設置又は改良であって、期間中に供用を開始したもの）					
設備名	計画数		整備数		進捗率
ホームドア	0 駅	0 番線	0 駅	0 番線	— %
エレベーター	0 駅	0 基	0 駅	0 基	— %
エスカレーター	0 駅	0 基	0 駅	0 基	— %
スロープ	0 駅	0 ヶ所	0 駅	0 ヶ所	— %
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線	0 駅	0 番線	— %
段差隙間縮小に資する設備	0 駅	0 番線	0 駅	0 番線	— %
バリアフリースイレ	0 駅	0 ヶ所	0 駅	0 ヶ所	— %
車両のフリースペース	0 編成	0 両	0 編成	0 両	— %
その他		0 駅		0 駅	— %
備考					

※整備内容の詳細については様式3-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

料金徴収による期間中のホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		0	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0	駅
	二経路以上確保駅	0	駅

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績		
(1) 設置・改良費		
設備名	整備数	整備費
ホームドア	0 駅 0 番線	6 百万円
エレベーター	0 駅 0 基	0 百万円
エスカレーター	0 駅 0 基	0 百万円
スロープ	0 駅 0 ヶ所	0 百万円
内方線付点状ブロック	0 駅 0 番線	0 百万円
段差隙間縮小	0 駅 0 番線	0 百万円
バリアフリースイレ	0 駅 0 ヶ所	0 百万円
車両のフリースペース	0 編成 0 両	0 百万円
その他	0 駅	0 百万円
備考		
(2) 更新費		
設備名	整備数	整備費
ホームドア	0 駅 0 番線	0 百万円
エレベーター	0 駅 0 基	0 百万円
エスカレーター	0 駅 0 基	0 百万円
バリアフリースイレ	0 駅 0 ヶ所	0 百万円
車両	0 編成 0 両	0 百万円
その他	0 駅	0 百万円
備考		
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）		
維持管理費	24	百万円
収受システム改修費	74	百万円
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	49	百万円
備考		

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備等計画と実績が異なる場合の対応方針

(該当なし)

2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	京阪電気鉄道株式会社
---------	------------

本年度整備費	65 百万円
--------	--------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）		
設備名	整備数	駅名
ホームドア	0 駅 0 番線	
エレベーター	0 駅 0 基	
エスカレーター	0 駅 0 基	
スロープ	0 駅 0 ヶ所	
内方線付点状ブロック	0 駅 0 番線	
段差隙間縮小に資する設備	0 駅 0 番線	
バリアフリースイレ	0 駅 0 ヶ所	
車両のフリースペース	1 編成 7 両	
その他※	1 駅	
備考	※列車接近・行先表示器	

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	0 番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅
	二経路以上確保駅	0 駅

本年度徴収額	883 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 （百万円）	545	338	0
備考			

本年度までの累計整備費	4,716 百万円
本年度までの累計徴収額	3,769 百万円

※端数処理の都合上、様式2-1の本年度整備費と様式2-2の整備費の合計は異なる

2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績			
(1) 設置・改良費			
設備名	整備数		整備駅名
ホームドア	0 駅	0 番線	
エレベーター	0 駅	0 基	
エスカレーター	0 駅	0 基	
スロープ	0 駅	0 ヶ所	
内方線付点状ブロック	0 駅	0 番線	
段差隙間縮小	0 駅	0 番線	
バリアフリースイッチ	0 駅	0 ヶ所	
車両のフリースペース	1 編成	7 両	
その他※		1 駅	
備考	※列車接近・行先表示器（光善寺駅）		
(2) 更新費			
設備名	整備数		整備駅名
ホームドア	0 駅	0 番線	
エレベーター	0 駅	0 基	
エスカレーター	0 駅	0 基	
バリアフリースイッチ	0 駅	0 ヶ所	
車両	0 編成	0 両	
その他		駅	
備考			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費	41 百万円		
収受システム改修費	百万円		
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	百万円		
備考	維持管理費:ホームドア、エレベーター、運行情報配信システムのメンテナンス		

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書きで新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2021年度～2025年度）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	2番線	33%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	4番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
2025年度	0番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
累計	6番線	100%	0駅	—	0駅	—

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
例) ○○駅ホームドア整備事業（××駅△△番線）			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	京阪電気鉄道株式会社
---------	------------

期間中の総整備費	4,716 百万円
期間中の総徴収額	3,769 百万円
備考	

整備完了実績（設置又は改良であって、期間中に供用を開始したもの）					
設備名		計画数		整備数	進捗率
ホームドア		3 駅	6 番線	3 駅 6 番線	100 %
エレベーター		駅	基	駅 基	%
エスカレーター		駅	基	駅 基	%
スロープ		駅	ヶ所	駅 ヶ所	%
内方線付点状ブロック		駅	番線	駅 番線	%
段差隙間縮小に資する設備		駅	番線	駅 番線	%
バリアフリートイレ		駅	ヶ所	駅 ヶ所	%
車両のフリースペース		5 編成	37 両	5 編成 37 両	100 %
その他※1		1 駅		1 駅	100 %
備考	※1_列車接近・行先表示器				

※整備内容の詳細については様式3-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

料金徴収による期間中のホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数		6 番線
段差解消駅数	一経路確保駅	駅
	二経路以上確保駅	駅

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績		
(1) 設置・改良費		
設備名	整備数	整備費
ホームドア	3 駅 6 番線	2,174 百万円
エレベーター	駅 基	百万円
エスカレーター	駅 基	百万円
スロープ	駅 ヶ所	百万円
内方線付点状ブロック	駅 番線	百万円
段差隙間縮小	駅 番線	百万円
バリアフリースイッチ	駅 ヶ所	百万円
車両のフリースペース	5 編成 37 両	65 百万円
その他 ※1	1 駅	11 百万円
備考	※1_列車接近・行先表示器 (光善寺駅)	
(2) 更新費		
設備名	整備数	整備費
ホームドア	駅 番線	百万円
エレベーター	2 駅 4 基	121 百万円
エスカレーター	駅 基	百万円
バリアフリースイッチ	駅 ヶ所	百万円
車両	2 編成 12 両	951 百万円
その他 ※2	3 駅	111 百万円
その他 ※3	60 駅	378 百万円
その他 ※4	60 駅	107 百万円
備考	※2_列車接近・行先表示器 (天満橋駅、京橋駅、御殿山駅) ※3_駅放送 (土居駅、郡津駅)、放送システム更新 (全駅) ※4_運行情報配信システム (旅客案内ディスプレイ) (全駅)	
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)		
維持管理費	405 百万円	
収受システム改修費	302 百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	88 百万円	
備考	※2025年10月1日の運賃改定にあわせ本制度を終了するに伴い必要となる収受システム改修費及びその他費用について、本様式には計上していない。	

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

※端数処理の都合上、様式3-1の期間中の総整備費と様式3-2の整備費の合計は異なる

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備等計画と実績が異なる場合の対応方針

変更点なし

2026 年 6 月 24 日公表
山陽電気鉄道株式会社

鉄道駅バリアフリー料金制度における整備等計画の進捗状況について（お知らせ）

標記の件につきまして、弊社では 2023 年 4 月 1 日から運賃に加算して「鉄道駅バリアフリー料金」を収受させていただいておりますが、「鉄道駅バリアフリー料金制度の運用細目を定める通達（国鉄都第 111 号令和 3 年 12 月 28 日付）」に基づき、2025 年度のバリアフリー整備等の実績について以下の通りご報告申し上げます。

お客さまには引き続き料金のご負担をおかけしますが、制度の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

■2025 年度実績の主な内容

1. 整備費総額 2 億 93 百万円

【内訳】設置・改良費：75 百万円、更新費：1 億 64 百万円、維持管理費等：52 百万円

2. 設置・改良費の内訳

①段差隙間縮小に資する設備：72 百万円（舞子公園駅 2 番線）

②その他（段差解消を目的とした改札口の新設に向けた準備工事）：3 百万円（的形駅）

3. 更新費の内容

・エレベーター：1 億 64 百万円（西代駅 2 基、板宿駅 3 基、飾磨駅 1 基）

4. 維持管理費の内容

①エレベーター：36 百万円

②エスカレーター：15 百万円

➤なお、端数処理を切り捨てにより行っていることから、整備費総額と内訳とが一致しない場合がございます。

2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	山陽電気鉄道株式会社
---------	------------

本年度整備費	293 百万円
--------	---------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）		
設備名	整備数	駅名
ホームドア	駅 番線	
エレベーター	駅 基	
エスカレーター	駅 基	
スロープ	駅 ヶ所	
内方線付点状ブロック	駅 番線	
段差隙間縮小に資する設備	1 駅 2 番線	舞子公園駅
バリアフリースイレ	駅 ヶ所	
車両のフリースペース	編成 両	
その他	駅	
備考		

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	駅
	二経路以上確保駅	駅

本年度徴収額	331 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	179	152	0
備考			

本年度までの累計整備費	1,297 百万円
本年度までの累計徴収額	935 百万円

2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績			
(1) 設置・改良費			
設備名	整備数	整備駅名	整備費
ホームドア	駅 番線		百万円
エレベーター	駅 基		百万円
エスカレーター	駅 基		百万円
スロープ	駅 ヶ所		百万円
内方線付点状ブロック	駅 番線		百万円
段差隙間縮小	1 駅 2 番線	舞子公園（新規）	72 百万円
バリアフリースイレ	駅 ヶ所		百万円
車両のフリースペース	編成 両		百万円
その他	1 駅	的形（継続）	3 百万円
備考	その他の1駅は段差解消を目的とした改札口の新設		
(2) 更新費			
設備名	整備数	整備駅名	整備費
ホームドア	駅 番線		百万円
エレベーター	3 駅 6 基	西代、板宿（新規） 飾磨（継続）	164 百万円
エスカレーター	駅 基		百万円
バリアフリースイレ	駅 ヶ所		百万円
車両	編成 両		百万円
その他	駅		百万円
備考			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費	52	百万円	
収受システム改修費		百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)		百万円	
備考	維持管理費はエレベーター・エスカレーターにかかる費用		

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2021年度～2025年度）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	0番線	0%	0駅	0%	1駅	100%
2025年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	100%
累計	0番線	0%	0駅	0%	1駅	100%

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度～2035年度）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	0番線	0%	1駅	13%	0駅	0%
2027年度	0番線	0%	0駅	13%	0駅	0%
2028年度	0番線	0%	0駅	13%	0駅	0%
2029年度	0番線	0%	2駅	38%	0駅	0%
2030年度	0番線	0%	1駅	50%	0駅	0%
2031年度	0番線	0%	1駅	63%	0駅	0%
2032年度	0番線	0%	1駅	75%	0駅	0%
2033年度	0番線	0%	0駅	75%	0駅	0%
2034年度	0番線	0%	1駅	88%	0駅	0%
2035年度	0番線	0%	0駅	100%	0駅	0%
累計	— 番線	— %	7駅	100%	— 駅	— %

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	山陽電気鉄道株式会社
---------	------------

期間中の総整備費	1,297 百万円
期間中の総徴収額	935 百万円
備考	

整備完了実績（設置又は改良であって、期間中に供用を開始したもの）						
設備名		計画数		整備数		進捗率
ホームドア		駅	番線	駅	番線	%
エレベーター		1 駅	2 基	1 駅	2 基	100 %
エスカレーター		駅	基	駅	基	%
スロープ		0 駅	0 ヶ所	0 駅	0 ヶ所	0 %
内方線付点状ブロック		駅	番線	駅	番線	%
段差隙間縮小に資する設備		3 駅	6 番線	3 駅	6 番線	100 %
バリアフリースイレ		4 駅	4 ヶ所	2 駅	2 ヶ所	50 %
車両のフリースペース		編成	両	編成	両	%
その他		2	駅	1	駅	50 %
備考	段差隙間縮小に資する設備					

※整備内容の詳細については様式3-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

料金徴収による期間中のホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		0	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0	駅
	二経路以上確保駅	1	駅

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績		
(1) 設置・改良費		
設備名	整備数	整備費
ホームドア	駅 番線	百万円
エレベーター	1 駅 2 基	400 百万円
エスカレーター	駅 基	百万円
スロープ	0 駅 0 ヶ所	0 百万円
内方線付点状ブロック	駅 番線	百万円
段差隙間縮小	3 駅 6 番線	211 百万円
バリアフリースイレ	4 駅 4 ヶ所	28 百万円
車両のフリースペース	編成 両	百万円
その他	2 駅	53 百万円
備考	その他は段差解消を目的とした改札口の新設	
(2) 更新費		
設備名	整備数	整備費
ホームドア	駅 番線	百万円
エレベーター	5 駅 12 基	308 百万円
エスカレーター	1 駅 1 基	36 百万円
バリアフリースイレ	駅 ヶ所	百万円
車両	編成 両	百万円
その他	駅	百万円
備考		
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)		
維持管理費	168	百万円
収受システム改修費	4	百万円
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	85	百万円
備考	その他は駅務機器・駅頭表示・ホームページの運賃改定対応費	

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備等計画と実績が異なる場合の対応方針

バリアフリー整備・徴収計画と完了実績の差異については以下の通りです。

スロープ：1駅において設計を計画していましたが、時期を先送りいたしました。

バリアフリースイレ：4駅4ヶ所を計画していましたが、うち2駅2ヶ所について整備時期を先送りいたしました。

その他：2駅において改札口の新設を計画していましたが、うち1駅について整備時期を先送りいたしました。

2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	大阪市高速電気軌道株式会社
---------	---------------

本年度整備費	15,037 百万円
--------	------------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホームドア	20 駅	40 番線	大日・他19駅※1（全駅設置完了）
エレベーター	7 駅	8 基	東三国・なかもず・中崎町・野田阪神・日本橋・今里・大正
エスカレーター	駅	基	
スロープ	駅	ヶ所	
内方線付点状ブロック	駅	番線	
段差隙間縮小に資する設備	20 駅	41 番線	太子橋今市・花園町・緑橋・他17駅※3
バリアフリースイレ	駅	ヶ所	
車両のフリースペース	編成	両	
その他	5	駅	淀屋橋・本町・天王寺・弁天町・谷町四丁目
備考	音案内		

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	駅	
	二経路以上確保駅	7	駅

本年度徴収額	6,799 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	5,201	1,598	0
備考			

本年度までの累計整備費	41,169 百万円
本年度までの累計徴収額	18,573 百万円

2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	48 駅	98 番線	(継続) 谷町線、四つ橋線、中央線※1	6,804 百万円
エレベーター	13 駅	17 基	(継続)東三国・なかもず・他 8 駅※ 2 (新規)・阿倍野・朝潮橋・阿波座	3,410 百万円
エスカレーター	4 駅	4 基	(新規)淀屋橋・なんば・西梅田・動物園前	3 百万円
スロープ	駅	ヶ所		百万円
内方線付点状ブロック	駅	番線		百万円
段差隙間縮小	20 駅	41 番線	(新規)太子橋今市・花園町・緑橋・他17駅※ 3	1,281 百万円
バリアフリースイレ	駅	ヶ所		百万円
車両のフリースペース	編成	両		百万円
その他	6 駅		(継続)淀屋橋・本町・天王寺・弁天町・谷町四丁目 (新規)森ノ宮	5 百万円
備考	※ 1 谷町線 25駅(大日等、東梅田を除く全駅)・四つ橋線 9駅(肥後橋等、西梅田・大田町を除く全駅)・中央線 14駅(コスモスクエア等全駅) 供用開始駅 谷町線20駅 (大日・守口・太子橋今市・千林大宮・関目高殿・野江内代・都島・天神橋筋六丁目・中崎町・四天王寺前々陽ヶ丘・天王寺・阿倍野・文の里・田辺・駒川中野・平野・喜連瓜破・出戸・長原・八尾南) ※ 2 (継続)江坂・東三国・なかもず・守口・千林大宮・中崎町・野田阪神・日本橋・今里・大正/(新規)・阿倍野・朝潮橋・阿波座 ※ 3 (新規(供用開始駅))谷町線 (太子橋今市・千林大宮・関目高殿・野江内代・都島・天神橋筋六丁目・谷町四丁目・谷町六丁目・谷町九丁目・四天王寺前々陽ヶ丘・天王寺) ・四つ橋線 (花園町・岸里・玉出・北加賀屋・住之江公園) ・中央線 (緑橋・深江橋・高井田・長田) その他整備設備：音案内			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホームドア	5 駅	10 番線	フェリタミナ・南港東・南港口・平林・ユートラム住之江公園・今里筋線調査	396 百万円
エレベーター	10 駅	12 基	天王寺・平野・堺筋本町・他 7 駅※4	576 百万円
エスカレーター	8 駅	11 基	天王寺・南森町・住之江公園・他 4 駅※5	429 百万円
バリアフリースイレ	駅	ヶ所		百万円
車両	編成	両		百万円
その他	各 駅			769 百万円
備考	※4 天王寺・平野・堺筋本町2・野田阪神2・扇町・長堀橋・西大橋・ドーム前千代崎・横堤、可搬型階段昇降機購入、センサー更新 ※5 天王寺・南森町・住之江公園・新深江・西長堀・北浜・天下茶屋・京橋4、設計 その他内訳：旅客案内表示器・サービス情報表示器・案内設備			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）				
維持管理費		1,364		百万円
収受システム改修費				百万円
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				百万円
備考	維持管理内訳：ホームドア・エレベーター・エスカレーター・点字ブロック・バリアフリースイレ・旅客案内表示器・サービス情報表示器・幅広改札機・案内設備			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。
※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2021年度～2025年度）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0 番線	0 %	— 駅	— %	0 駅	0 %
2022年度	0 番線	0 %	— 駅	— %	0 駅	0 %
2023年度	11 番線	11 %	— 駅	— %	1 駅	9 %
2024年度	47 番線	59 %	— 駅	— %	3 駅	36 %
2025年度	40 番線	100 %	— 駅	— %	7 駅	100 %
累計	98 番線	100 %	— 駅	— %	11 駅	100 %

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度～2030年度）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	－ 番線	－ %	－ 駅	－ %	2 駅	20 %
2027年度	－ 番線	－ %	－ 駅	－ %	1 駅	30 %
2028年度	－ 番線	－ %	－ 駅	－ %	3 駅	60 %
2029年度	－ 番線	－ %	－ 駅	－ %	2 駅	80 %
2030年度	－ 番線	－ %	－ 駅	－ %	2 駅	100 %
累計	－ 番線	－ %	－ 駅	－ %	10 駅	100 %

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2031年度～2035年度）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2031年度	－ 番線	－ %	－ 駅	－ %	2 駅	20 %
2032年度	－ 番線	－ %	－ 駅	－ %	2 駅	40 %
2033年度	－ 番線	－ %	－ 駅	－ %	2 駅	60 %
2034年度	－ 番線	－ %	－ 駅	－ %	2 駅	80 %
2035年度	－ 番線	－ %	－ 駅	－ %	2 駅	100 %
累計	－ 番線	－ %	－ 駅	－ %	10 駅	100 %

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
該当なし			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	大阪市高速電気軌道株式会社
---------	---------------

期間中の総整備費	41,169 百万円
期間中の総徴収額	18,573 百万円
備考	

整備完了実績（設置又は改良であって、期間中に供用を開始したもの）					
設備名	計画数		整備数		進捗率
ホームドア	48 駅	98 番線	48 駅	98 番線	100 %
エレベーター	11 駅	12 基	11 駅	12 基	100 %
段差隙間縮小に資する設備	37 駅	76 番線	36 駅	74 番線	97 %
その他	各	駅	各	駅	100 %
備考					

※整備内容の詳細については様式3-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

料金徴収による期間中のホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	98	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	駅
	二経路以上確保駅	11 駅

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績		
(1) 設置・改良費		
設備名	整備数	整備費
ホームドア	48 駅 98 番線	19,140 百万円
エレベーター	16 駅 20 基	5,616 百万円
エスカレーター	4 駅 4 基	3 百万円
スロープ	駅 ヶ所	百万円
内方線付点状ブロック	駅 番線	百万円
段差隙間縮小	36 駅 74 番線	2,268 百万円
バリアフリースイレ	駅 ヶ所	百万円
車両のフリースペース	編成 両	百万円
その他	各 駅	1,212 百万円
備考	その他整備：音案内・サービス情報表示器・幅広改札・遠隔案内システム改良	
(2) 更新費		
設備名	整備数	整備費
ホームドア	8 駅 16 番線	617 百万円
エレベーター	32 駅 50 基	1,873 百万円
エスカレーター	26 駅 38 基	1,297 百万円
バリアフリースイレ	駅 ヶ所	0 百万円
車両	編成 両	0 百万円
その他	各 駅	3,037 百万円
備考	その他設備：旅客案内表示器、案内設備（サイン）、点字ブロック	
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）		
維持管理費	5,788	百万円
収受システム改修費	94	百万円
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	224	百万円
備考		

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備等計画と実績が異なる場合の対応方針

◎段差隙間縮小に資する設備（整備計画37駅76番線、整備実績36駅74番線）
2026年4月4日に整備完了済み